

令和8年7月9日 庁議議事要旨

庁議開催日		令和8年7月9日
開催時間		午前8時30分～午前10時
参加者		区長、副区長、教育長、各部長、児童相談所長、江戸川保健所長、区議会事務局長、他参与
報告①	報告タイトル	外国人世帯に向けた案内はがきの一斉発送
	所管部署	SDGs推進部
	報告内容	日本人も外国人も区民として安心して暮らしていくために、江戸川区で生活するうえで必要なルールやマナーを学ぶ、生活オリエンテーション動画「江戸川区でともに暮らそう」を制作した。その周知のため、区内在住外国人世帯に向けて、7月10日に案内はがきを一斉発送する。なお、対象は31,142世帯である。
報告②	報告タイトル	令和8年度東京都・江戸川区合同総合防災訓練報告（速報値）
	所管部署	危機管理部
	報告内容	大規模地震発生後の本格復旧・復興に向けた取組を進める中で、猛烈な勢力の台風が東京地方に接近し、荒川において氾濫が発生、江戸川区を中心に東部低地帯で大規模な浸水被害が発生したとの想定で、「令和8年度 東京都・江戸川区合同総合防災訓練」を7月3日から5日までの3日間で開催した。訓練内容は、1日目は①江戸川区職員防災訓練（水害編）、②都区合同の災害対策本部会議（Web会議）、2日目は国立オリンピック記念青少年センターにて都区合同の①広域避難先施設の開設訓練、②避難者受け入れ訓練、3日目は平井運動公園等にて、全て都区合同の①救出救助訓練、②展示体験訓練、③医療救護活動訓練、④検視・検案・身元確認訓練、⑤緊急支援物資輸送訓練を実施した。2日目は区民区職員を含む約170名、3日目の①②は来場者数等あわせて約5,200名の参加者であった。
報告③	報告タイトル	広域避難の具体化に係る検討
	所管部署	危機管理部
	報告内容	大規模水害時の広域避難に向け、区はこれまでに江東5区大規模水害広域避難計画の策定、区職員防災訓練、江戸川区水害ハザードマップの作製等の区民啓発、広域避難宿泊費の補助等、様々な取組を行ってきた。これら取組を進めてきた中で、区の一方的な啓発活動では、区民全ての広域避難に対する意識を変容することが困難であることが課題として見えてきた。70万区民の広域避難を実現するために、広域避難の具体的な方法とともに、区・区民が広域避難を「自分ごと」化していくための仕掛けが必要であることから、全庁を総動員した取組等について検討していく。
報告④	報告タイトル	粗大ごみ持込手数料の一部改定
	所管部署	環境部
	報告内容	適正な受益者負担及び更なるごみ減量の観点から、粗大ごみ持込施設へ直接持ち込む場合の持込手数料を見直し、10月1日以降の申込分から、10kg相当品目を無料から200円に変更する。広報えどがわ8月1日号、区ホームページにて周知する。
報告⑤	報告タイトル	令和8年度（第24回）鈴木青少年の翼の出発・帰国
	所管部署	文化共育部
	報告内容	第24回鈴木青少年の翼として、派遣員を3つの団に分け、それぞれオーストラリア（セントラルコースト市）、ニュージーランド（ホキティカ町）へ7月27日～8月7日の12日間、アメリカ合衆国（ホノルル市）へ8月13日～8月21日の9日間派遣する。この事業は、区内の中高生を海外に派遣し、ホームステイや学校体験など、現地の人々との交流を通して、国際感覚を持った人材を育成することを目的としている。なお、9月6日にタワーホール船堀にて帰国報告会を予定している。
報告⑥	報告タイトル	共育プラザ葛西臨海分室の設置
	所管部署	文化共育部
	報告内容	区内7か所に共育プラザを設置しているが、葛西南部は南葛西分室を制限付きで開館していた。臨海育成室跡地は限られたスペースだが、空白地帯の解消を優先し、必要な機能を選択的に導入した「共育プラザ葛西臨海分室」を設置し、9月1日より開館する。なお、共育プラザ葛西南葛西分室は9月1日で廃止する。

令和8年7月9日 庁議議事要旨

庁議開催日		令和8年7月9日
報告 ⑦	報告タイトル	高齢者の外出促進・生きがいづくりとラジオ体操と銭湯の利用促進事業（ラジオ体操×銭湯）
	所管部署	文化共育部・福祉部
	報告内容	（1）高齢者の外出促進、生きがいづくり、健康増進（2）ラジオ体操の普及（3）区内銭湯の活性化（4）地域力向上を目的として、指定会場においてラジオ体操に参加し、専用のスタンプカードにスタンプを20個貯めると、区内銭湯が1回半額程度で利用できる事業を7月1日より開始した。
報告 ⑧	報告タイトル	令和8年度江戸川区産業実態調査
	所管部署	産業経済部
	報告内容	区内の事業者を対象に、経営状況や課題・要望等を把握することで、今後の産業経済施策の検討に役立てることを目的に、約15,000の事業所に郵送またはインターネットにて産業実態調査を実施する。調査票を7月10日に発送し、回答期限は8月10日。調査項目は経営状況、人材関連、中東情勢による影響等で、10月初旬に集計・分析が完了する予定である。
報告 ⑨	報告タイトル	生活保護基準改定の最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付
	所管部署	福祉部
	報告内容	平成25年8月から実施した生活扶助基準の引下げ処分が、令和7年6月27日の最高裁判決で違法と判断されたため、国は当時の生活保護受給世帯を対象に「新たな水準」と「従来の水準」の差額を追加給付することを決定した。対象は、生活保護を平成25年8月から令和8年3月までの期間に受けていた世帯である。保護受給中世帯は申請手続き不要で、7月23日以降に決定通知書とお知らせ文を発送し、30日以降に口座振込、窓口又は郵送により支給する。保護廃止世帯は申出書に必要書類を添付し申し出ること、口座振込、窓口又は郵送により支給する。国は新聞広告等、本区は広報えどがわや区ホームページ等で周知し、8月1日より申出受付を開始する。
報告 ⑩	報告タイトル	江戸川区新型コロナウイルス感染症等対策行動計画の改定
	所管部署	健康部
	報告内容	今般の新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、令和6年7月に政府行動計画が、令和7年5月に都行動計画が抜本的に改定されたことから、この度、平成26年3月に策定された江戸川区新型コロナウイルス感染症等対策行動計画の改定を行った。改定のポイントは、①幅広い感染症に対応、②発生段階の考え方の見直し、③対策項目の拡充の3点である。5月1日から30日までの間に意見募集（パブリック・コメント）を実施し、確定版を7月13日に公表する。
報告 ⑪	報告タイトル	令和8年度「道路ふれあい月間」
	所管部署	土木部
	報告内容	8月10日（道の日）を含む8月1日～31日を令和8年度「道路ふれあい月間」として、道路の役割や重要性、正しい道路利用の啓発、道路愛護思想の普及を図る取り組みを行う。その一環として「道路ふれあい月間」推進標語を募集し、608点の応募の中から最優秀賞2点、優秀賞15点を選定した。7月17日に、タワーホール船堀にて表彰式を実施する。受賞作品を広報えどがわや区ホームページで紹介するほか、区内3カ所の横断歩道橋に「道路ふれあい月間」をお知らせする横断幕を設置するなど、さまざまな広報活動を行う。
報告 ⑫	報告タイトル	日本語学級の開級
	所管部署	教育委員会事務局
	報告内容	日本語能力が不十分な帰国児童や外国籍児童・生徒等のために日本語を習得するための授業を行う日本語学級を設置している。小岩第四中学校の生徒数が急増したため、令和9年4月1日より小岩第五中学校に日本語学級を開級する。

令和8年7月9日 庁議議事要旨

庁議開催日		令和8年7月9日
イベント ①	報告タイトル	第37回小岩あさがお市
	所管部署	産業経済部
	報告内容	7月12日、JR小岩駅南口付近商店街にて、商店街のサマーセールとタイアップし、「第37回 小岩あさがお市」が開催される。あさがお市は、午前7時30分から10会場で、区内園芸農家4軒の出荷により、計600鉢を販売する予定である。また、サマーセールでは、あさがお購入者やスタンプラリー参加者向けのプレゼントを用意しているほか、太鼓やウクレレの演奏、踊りなどのイベントを予定している。
イベント ②	報告タイトル	第55回江戸川区特産金魚まつり
	所管部署	産業経済部
	報告内容	7月18日と19日の2日間、行船公園にて「第55回 江戸川区特産金魚まつり」が開催される。金魚の展示販売や金魚すくいのほか、高級金魚すくいや小学生までの子どもを対象としたチャレンジ・ザ・金魚すくいを予定している。
イベント ③	報告タイトル	第51回江戸川区花火大会
	所管部署	産業経済部
	報告内容	8月1日、江戸川河川敷において「第51回 江戸川区花火大会」を開催する。名物の5秒間1,000発打ちのオープニングから始まり、昨年ギネス世界記録認定された富士山の仕掛け花火やエンディングでは金カムロ花火の重ね打ち上げを予定している。また、特別企画としてNHK【チコちゃんに叱られる！】の「江戸川の黒い鳥」ことキョエちゃんが登場する。
イベント ④	報告タイトル	夏の祭典2026
	所管部署	福祉部
	報告内容	7月17日、都立白鷺特別支援学校にて「夏の祭典 2026」が開催される。障害のある方の製品販売、生徒による和太鼓・ダンスなどのステージ発表、メタバース区役所・ポッチャなどの体験コーナー、障害福祉相談コーナー、模擬店出展など、一般の方にも開放したイベントを実施する。
イベント ⑤	報告タイトル	Edogawa Beer Projectビール販売イベント等の開催
	所管部署	福祉部
	報告内容	Edogawa Beer Projectの周知普及を行うと同時に、障害者の就労機会の創出および理解啓発を行うことを目的として、8月1日、篠崎公園バスケットコート内に、江戸川区花火大会に合わせ、「ともにびーる」等の販売会場を設置する。ともにびーる販売のほか、区内障害者団体、東京都公園協会も出店する。また、8月15日と16日の2日間に、新川さくら館及び桜橋で「ともにびーるまつり2026～きんぎょスペシャル～」を開催する。ビール販売や飲食販売に加え、イベントやレクリエーションも実施する。今年度は開催日を1日から2日間連続開催へ変更したことに加え、東京藝術大学のイベント全面プロデュースにより開催している。
イベント ⑥	報告タイトル	第76回利根川治水同盟治水大会
	所管部署	土木部
	報告内容	利根川流域1都5県の自治体等で構成する利根川治水同盟が、利根川水系各事業を推進するため、流域1都5県の各地で治水大会を毎年開催している。今年は8月7日に千葉県印旛郡栄町で開催され、区議会議員や区職員等が参加する。